身体障がい者診断書・意見書

「ヒト免疫不全ウイルスに 障がい用 (よる免疫機能(13歳以上)

| 氏 名 | 年月日生男・ | 女 |
|---|--|-----|
| 住 所 | | |
| 1 障がい名 ヒト免疫不全ウイルスによ (部位を明記) る免疫機能障がい | | |
| 2 原因となった 疾病・外傷名 | 10 20 30 40 交通、労災、その他の事故、戦傷 戦災、疾病、先天性、その他() 50 60 70 80 | |
| 3 疾病・外傷発生年月日 年 | 月 日・場所 | |
| 4 参考となる経過・現症(エックス線写真及び | ー 倹査所見を含む。) | |
| 障がい固定又は障がい確 | 定(推定) 年 月 | 日 |
| 5 総 合 所 見 | - 将来再認定 要(重度化・その他) ^フ - 再認定年月 年 | 不要月 |
| 6 その他の参考となる合併症状 | | |
| 上記のとおり診断する。併せて以下の意見を何 | 付す。 | |
| 年 月 日 | | |
| 勤務先 | | |
| (所在地・名称・電話番号) | · 暲害者福祉法 | |
| | | 1 |
| 身体障害者福祉法第 15 条第 3 項の意見〔障か 障がいの程度は、身体障害者福祉法別表にす ・該当する (級相当)・該当しない | い程度等級についても参考意見を記え | |

- [注意] 1 障がい名には現在起こっている障がい、例えば両眼失明、両耳ろう、右上 下肢麻痺、心臓機能障がい等を記入し、原因となった疾病には、角膜混濁、先天 性難聴、脳血管障がい、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。
 - 2 障がい区分や等級決定のため、和泉市から改めて診断内容についてお問い 合せする場合があります。

1 HIV 感染確認日及びその確認方法

HIV 感染を確認した日 年 月 日

(2)についてはいずれか一つの検査による確認が必要である。

(1) HIV の抗体スクリーニング検査法の結果

| | 検 | 査 | 法 | 検 | 査 | 日 | 検 | 査 | 結 | 果 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|
| 判定結果 | | | | 年 | 月 | 日 | 陽 | 陽性、 | | Ė |

注1 酵素抗体法(ELISA)、粒子凝集法(PA)、免疫クロマトグラフィー法(IC)等のうち一つを行うこと。

(2) 抗体確認検査又は HIV 病原検査の結果

| | 検 | 查 | 名 | 検 | 查 | 日 | 検 査 | 結 果 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|-----|-----|
| 抗体確認検査の結果 | | | | 年 | 月 | 日 | 陽性、 | 陰性 |
| HIV 病原検査の結果 | | | | 年 | 月 | 日 | 陽性、 | 陰性 |

- 注2 「抗体確認検査」とは、Western Blot 法、蛍光抗体法(IFA)等の検査をいう。
- 注 3 「HIV 病原検査」とは、HIV 抗原検査、ウイルス分離、PCR 法等の検査をいう。
- 2 エイズ発症の状況

HIV に感染していて、エイズを発症している者の場合は、次に記載すること。

| 指煙疾串 | 上 | 7 | の診断根拠 |
|---------|-----------|----|-------|
| 1日1示7大示 | \subset | ٠(| |

注 4 「指標疾患」とは、「サーベイランスのための HIV 感染症/AIDS 診断基準」(厚生省エイズ動向委員会、1999)に規定するものをいう。

| 回復不能なエイズ合併症の | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|---|
| ため介助なしでの日常生活 | 不 | 能 | • | 可 | 能 |

3 CD4 陽性 T リンパ球数(/μl)

| 検 | 查 | 日 | 検 | 査 | 値 |
|---|---|---|---|---|-----|
| 年 | 月 | 日 | | | /μ0 |
| 年 | 月 | 日 | | | /μ0 |

| 平 | 均 | 値 |
|---|---|--------------|
| | | /μ0 |
| | | <i>γ μ</i> ε |

注 5 左欄には、4週間以上間隔をおいて実施した連続する2回の検査値を記載し、右欄にはその平均値を記載すること。

4 検査所見、日常生活活動の制限の状況

(1)検査所見

| (1//) 人 人 | | ı | | | | | | |
|-----------|-----|---------|---|---|------|---|------|------|
| | 検査日 | | 年 | 月 | 日 | 年 | 月 | 日 |
| 白血球数 | | | | | /μ0 | | | /μ0 |
| | | | | | | | | |
| | 検査日 | | 年 | 月 | 日 | 年 | 月 | 目 |
| Hb 量 | | | | | g∕dℓ | | : | g∕dℓ |
| | | | | | | | | |
| | 検査日 | | 年 | 月 | 日 | 年 | 月 | 目 |
| 血小板数 | | | | | /μ0 | | | /μ0 |
| | | | | | | | | |
| | 検査日 | | 年 | 月 | 日 | 年 | 月 | 目 |
| HIV-RNA 量 | | copy∕mℓ | | | | | copy | r∕mℓ |
| | | | | | | | | |

注6 4週間以上の間隔をおいて実施した連続する2回以上の検査結果を記入すること。

(2) 日常生活活動制限の状況

以下の日常生活活動制限の有無について該当する方を○で囲むこと。

| 日常生活活動制限の内容 | 左欄の状況の有無 |
|--|----------|
| 一日に1時間以上の安静臥床を必要とするほどの強い倦怠 感及び易疲労が月に7日以上ある | 有 · 無 |
| 健常時に比し10%以上の体重減少がある | 有 · 無 |
| 月に7日以上の不定の発熱(38℃以上)が2ヶ月以上続く | 有 · 無 |
| 一日に3回以上の泥状ないし水様下痢が月に7日以上ある | 有 · 無 |
| 一日に2回以上の嘔吐あるいは30分以上の嘔気が月に7 日以上ある | 有 · 無 |
| 「身体障害認定基準」6 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害(1)のアの(ア)の j に示す日和見感染症の既往がある | 有 · 無 |
| 生鮮食料品の摂取禁止等の日常生活活動上の制限が必要である | 有 · 無 |
| 軽作業を超える作業の回避が必要である | 有 · 無 |
| 日常生活活動制限の数 [個]・・・・ | ·····② |

- 注7 「日常生活活動制限の数」の欄には「有」を○で囲んだ合計数を記載する。
- 注8 「生鮮食料品の摂取禁止」の他に、「生水の摂取禁止」、「脂質の摂取制限」、「長期にわたる密な治療」、「厳密な服薬管理」、「人混みの回避」が同等の制限に該当するものであること。

(3) 検査所見及び日常生活活動制限等の該当数

| 回復不能なエイズ合併症のため介助なしでの日常生活 | 不 | 能 | • | 可 | 能 |
|--------------------------|---|---|---|---|-----|
| CD4 陽性 T リンパ球数の平均値(/μl) | | | | / | /μ0 |
| 検査所見の該当数(①) | | | | | 個 |
| 日常生活活動制限の該当数(②) | | | | | 個 |